

第5回 インターネットガバナンス研究会

ボトムアップ的アウトリーチと

その意義

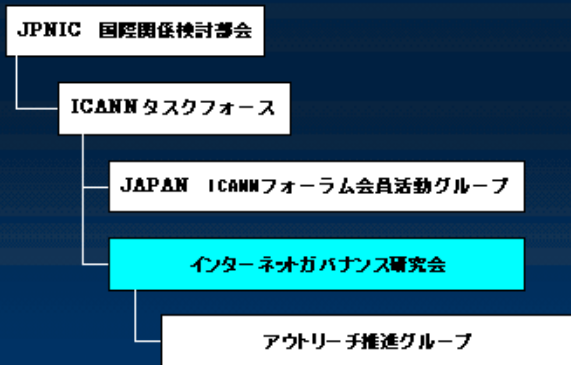
2000年7月3日

JPNIC ICANNタスクフォース

高橋明子

## 1. 私たちの活動の位置づけ

### b 組織図



## 2. ボトムアップ的アウトリーチの活動

- b インターネットガバナンス研究会の開催
  - ・第5回: 7/3(月) 東京日経新聞社大会議室
  - ・第6回: 7/11(火) 大阪WTCビル
- b メールングリスト **icann-d** による情報提供
- b リンクボタンの作成
  - ・インターネットガバナンス研究会webページ作成
  - ・リンクボタンの作成とリンクの呼びかけ
- b メールによる **at-large** 会員登録の呼びかけ

ツールバー: 戻る、進む、再読み込み、ホーム、検索、ガイド、印刷、セキュリティ、Shop、停止

アドレス欄: http://www.nic.ad.jp/p/nti/g-rag/

Instant Message: (イ) (バ) (カ) (キ) (ク) (ケ) (コ) (カ) (キ) (ク) (ケ) (コ) (カ) (キ) (ク) (ケ) (コ)

**JPNIC** 社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

TOP ▲ ENGLISH E SITE MAP M



インターネット選挙に

|         |    |   |
|---------|----|---|
| ICANN   | 0円 | ○ |
| インターネット | 選挙 | ○ |
| 16歳以上有効 |    | ○ |

参加しましょう!!

## インターネット・ガバナンス研究会のページ

### ■「インターネット・ガバナンス研究会」とは

インターネットは誰が管理しているのでしょうか。  
この素朴な疑問からスタートしたが、**インターネット・ガバナンス研究会**です。

インターネットは研究者がボランティアに作り上げてきたネットワークで、今でもその自由でボトムアップな精神が生きています。当研究会ではそのインターネットのガバナンスについて勉強し、皆で議論して日本から世界に向けてインターネットのあり方について 提案していきます。

研究会はオープン、フリー、ボトムアップ。インターネットを使用している方であれば、どなたでも参加していただけます。活動はメーリングリストでの議論を中心とし、月一回程度参加自由な研究会を行っています。このメーリングリストや研究会には、インターネットの管理主体である ICANN (Internet Corporation For Assigned Names and Numbers) という国際機関で日本人の理事や評議員として活躍している方も参加しており、あなたと評議員の議論が、世界のインターネットのあり方を支えていきます。あなたも、私たちに共にインターネットの未来を作っていきませんか！

次回研究会のご案内  
日程が決定しました: 東京(7月2日)、大阪(7月11日)

過去の研究会の資料・議事録

メーリングリストへの参加方法

### 3. 成果

#### b リンクを張ってくださった団体等(敬称略)

- ・国際大学グローバルコミュニケーションセンター
- ・(株)サンスイ
- ・電気通信調査会 ほか

#### b メール転送など(敬称略)

- ・(株)アンネット (30万人に送付)
- ・domain-talk
- ・自治体関係メーリングリスト
- ・市民団体

#### 4. ボトムアップ活動の意義と課題

##### b **atlarge**(一般) 会員選挙に対する批判

- ・電子メールアドレスを持つ誰もが投票できるようにするというICANNの計画に対する批判

by『民主主義と技術センター』(CDT)

『コモン・コース』(Common Cause)

<理由>

- ・ICANNが何であるかを知っているインターネット・ユーザーがほとんどいない
- ・何が問題になっているのかを知っている者がさらに少ない

## 4. ボトムアップ活動の意義と課題

### b アウトリーチグループに寄せられた疑問

- \* ICANNの意義はわかるが、自分が登録することが必要か?(政策決定の議論に参加できそうにない)
- \* 同じく、アウトリーチ活動の意義はわかるが、自分から積極的に呼びかけるべき範囲がわからない。一般人にはICANNの活動は無縁。
- \* 今後どのような手続を経て理事が決定するのかICANNだけでなく国内の動きを含めて知りたい。

#### 4. ボトムアップ活動の意義と課題

##### b 世界初のグローバルガバナンスの試み

##### **・ICANN 理事会議長 エスター・ダイソン氏**

ICANNはこの選挙に問題があることは承知しているが、失

敗はない。1回目は成功しないかもしれないが、うまくいか

なかったならば何が悪いかがわかる……それを修正して、やり直せばよい。(2000.3.7 カイロ会議にて)

<http://www.hotwired.co.jp/news/news/technology/story/3835.html>より転載



## 4. ボトムアップ活動の意義と課題

### b ICANNとは

- ・民間による国際的非営利団体
- ・政府による干渉なしにインターネットガバナンスを

行う仕組み

- ・直接民主制度の導入 (**atlarge** 会員)
- ・矛盾は矛盾として、それぞれのスタンスで「自分の問題」ととらえていけばよいのではないか。
  - ・世界初のグローバルガバナンスの試み、  
最初からすべての成功はありえない

5. よりいっそうの活動推進のお願い

3 会社、所属団体、知人の方へ、下記の呼びかけをお願いいたします。

- ・インターネットガバナンス研究会への参加  
（第6回：7/11（火） 大阪WTCビル）
- ・icann-dへの参加
- ・リンクの呼びかけ
- ・メールによる呼びかけ